

自校の指導ツールを他校の教師とともに検討し、各校の生徒特性に合った形へ改善を図る本コーナー。今回は、生徒一人ひとりの希望進路の実現を後押しするための志望校検討会で活用する資料について議論した。

Before

高2 [20XX年度] 成績

模擬試験①

英語	オール	数総合	数必須	数選択	国語総合	国語	古文	漢文	総合1	3教科	英62								
71.1	171	65.3	151	67.2	128	55	23	109.3	139	63.2	75	34.5	44	57.4	22	68.2	146.1	100	69.9
70.6	181	67.6	153	67.9	124	61.1	29	105.6	111	64.2	69	63.3	23	59.2	19	68.9	143.3	100	71.3

模擬試験②

英語	数学B問題	国語	日本史	世界史	地理	倫理	物理/物理基礎	化学基礎	生物基礎					
74.3	52	52	65.9	64	56	46	54.6	42	78.5	95	36	72.8	28	62.9

模擬試験③

英語	リスニング	英1	数1A	数1B	数1C	国語	物理	化学	生										
70.9	189	74.4	40	70.9	71.2	92	60.5	65	66.8	157	57.2	67.2	69.4	104	82.5	140	67	67	67

志望校判定

第1希望	高2記述1回				高2記述2回				第9希望
	大学名	学部	学科	判定値	大学名	学部	学科	判定値	
第1希望	東京一橋	文科二類	商	C	東京一橋	文科二類	商	C	慶徳
第2希望	横浜国立	経済	経一経済	C	横浜国立	経済	経済	A	早稲田
第3希望	慶應義塾	経済	経済	C	慶應義塾	商	商	A	一橋
第4希望	早稲田	政治経済	政治	C	早稲田	政治経済	経済	A	横浜
第5希望	明治	政治経済	経済	A	明治	政治経済	政治	A	明治
第6希望	青山学院	経済	経済	A	青山学院	経済	経済	A	千歳

高1 [20XX年度] 成績

模擬試験④

英語	オール	数総合	数必須	数選択	国語総合	国語	古文	漢文	総合1	3教科	英62								
72.5	181	73.2	182	72.7	144	66.6	38	100.8	110	63.2	75	34.5	44	57.4	22	68.2	146.1	100	69.9

模擬試験⑤

英語	数学	国語	総合									
77月記述	78.6	90	S1	70.6	78	S3	61.5	58	A2	74.0	227	S1
7月記述	80.2	81	S1	63.6	58	A2	64.3	86	A1	73.7	197	S2

模擬試験⑥

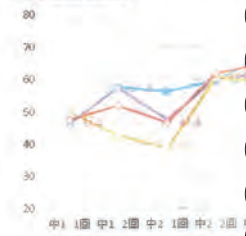
英語	数学	国語					
7月	72.0	86	S2	66.2	83	A2	68.8

中学 [20XX ~ 20XX年度] 成績

模擬試験⑦

英語	数学	国語	総合									
中1 1回	46.3	52	B2	56	63	B2	47.6	116	B2			
中1 2回	57.3	61	A3	57.4	70	A3	42.8	33	G1	52	164	B1
中2 1回	66	76	A3	47.6	48	B2	36.8	32	C2	46.7	156	B2
中2 2回	59.3	60	A2	60.1	62	A2	60.3	75	A1	61.8	197	A1
中3 1回	67.7	90	S3	61.5	73	A2	58.9	73	A2	64.9	236	S3
中3 2回	72	81	S1	63.4	62	A1	56.8	77	A2	67	230	S2

偏差値の推移



東京都・私立
佼成学園女子中学校
佼成学園中学校
西村準吉先生提供

「志望校検討会資料」

課題

- 1 多面的・総合的評価の入試に対応できるよう、現状の検討会資料を見直したい
- 2 検討課題が絞られず、会議時間が長時間にわたってしまう
- 3 検討会で教師たちから出された情報を、担任が活用できる形で残したい

検討メンバー



ツール提供者

東京都・私立
佼成学園女子中学校
佼成学園中学校
西村準吉
にしむら・じゅんきち



北海道旭川東高校
花尻健明
はなじり・たけあき



埼玉県・私立
武南中学校・高校
岡本眞一郎
おかもと・しんいちろう

東京都・私立佼成学園中学校では、3年生での志望校検討会を6、12、1月に実施している。生徒の学力や志望校の合格可能性など、担任が進路指導や学習指導に活用できる情報を共有することが目的だ。ただ、多面的・総合的評価の入試の拡大で、学力という定量データだけを用了検討に限界を感じ始めていた。加えて、入試方式の複雑化に伴い、指導に必要なデータは増えるが、すべてを資料にすることは難しく、検討会の所要時間も増加していた。検討会を効率的に進めるためには、どうすればよいのか、また、どうすれば検討会後に担任が行う面談で役立つ情報が共有できるのが課題だった。

担任が指導に活用できる情報を出し合える検討会にしたい

3年生 2学期 志望校検討会資料

After


改良ポイント

① 予想される検討課題をあらかじめ明確化し、議論の論点を絞りやすくする

検討会資料上の定量データから考えるべき課題を、あらかじめ明確化。何について議論すればよいのか、検討会出席者が論点の目線合わせをできるようにした。

② 検討会出席者は生徒の情報やアドバイスをシートに記入し、担任に共有する

検討会出席者が情報や指導のアドバイスをその場で書き込み、担任に共有できるようにする記入シートを新たに開発した。定性データは準備しなくても、その場でまとめてもらえる。



高2 [20XX年度] 成績

模擬試験①

模擬試験②

模擬試験③

志望校判定

高1 [20XX年度] 成績

模擬試験④

模擬試験⑤

中学 [20XX～20XX年度] 成績

模擬試験⑦

検討結果の記入シート _____ 年 _____ 組 先生へ 記入者 _____

生徒番号	生徒名
------	-----

学力と志望校の難易度から考えられる合格の可能性

志望校の入試科目と生徒の学力から見て、強化すべき教科・科目、今後の学習指導のポイント

検討する課題の□に✓を入れる

性格や特性を考慮した学習指導や進路指導の方針

本人の学力・志向と、志望校の条件・傾向（入試科目、センター試験と個別学力検査の比率など）との整合性

本人の学力・志向を踏まえた併願校の出願戦略

成績などの定量データから見える課題

志望校、志望学部・学科、地元、現役合格へのこだわり

希望の職業と学問領域の整合性

本人の希望と保護者の意向の整合性

部活動での様子など、定性データから見える課題

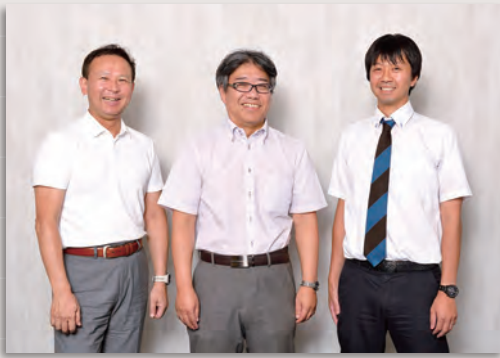
生徒の課題に沿って情報を出し合いながら今後の指導の方向性を検討し、その一連の結果を検討会に出席した教師それぞれが記入するシートを開発することにした。シートには、従来の検討会資料上の分析すべき項目をあらかじめ記載。加えて、部活動引退後の学習の様子など、3年生の2学期の検討会で共有すべきだが、数値だけでは読み取ることのできない項目も記載する。各教師からの定性情報などが集約されれば、担任が面談で生徒に確認すべき事柄や指導内容が整理される。また、指導経験の浅い教師でも指導に役立てやすい。生徒の状況に応じて項目を選択することで、論点が明確になり、検討会出席者は意見を出しやすくなるだろう。

検討会で出た情報を書き込み、担任に渡すシートを開発

次ページでは、3人の先生方の検討の様子をダイジェストで紹介！



このマークのある図版は、加工可能なデータとして、ベネッセ教育総合研究所のウェブサイト (<https://berd.benesse.jp>) からダウンロードできます。「HOME → 教育情報 → 高校向け → 生徒指導・進路指導ツール集」をご覧ください。



検討すべき論点を明確化し、 多様な視点から意見を集約

今後の志望校検討会では、多面的・総合的な評価へと転換する入試改革への対応の必要性から、模擬試験の偏差値や志望校の合格可能性以外の資料も必要だという声が上がった。ただ、事前に新たな資料を準備するのは負担が大きいため、検討会の場で出席者が出した情報を文字化して残すシートを作成することとなった。また、出し合ふべき情報や意見が分かるよう、あらかじめ定量データ等から検討課題を洗い出し、それらをシートの中に盛り込むという結論に至った。論点が明確化されることで、検討会の長時間化が

活用の流れ

- 1 担任が課題を感じている生徒、進路指導部が丁寧に検討したい生徒などを挙げる
- 2 検討会の出席者から出された今後の指導についての考えや、定量データからは分からない生徒の情報を、シートに記入する
- 3 記入したシートを材料として、担任は生徒との面談を行う

抑えられるという期待の声も上がった。シートは、検討会出席者全員に配布し、各自記入したものを担任に渡す方法や、シートを表計算ソフトで用意し、意見を入力しながら用紙1枚に集約して担任に渡す方法が提案された。

なお、多面的・総合的な評価による入試の拡大によって、指導の山場は早期化・複雑化が考えられる。多様な経験を持つ教師から異なる視点で意見を出し、生徒の背中を押す材料を増やす機会を設けることは、ますます重要になるのではないだろうか。志望校検討会は3年生1学期までに行うことが望ましく、英語の資格・検定試験の結果やポートフォリオなどの情報も必要になるという認識で一致した。

検討メンバーの先生に、自身の指導観や自校の生徒特性を踏まえて、 ツールの活用方法や留意点などをお話いただきました

生徒にアドバイスすべき事柄の優先順位を可視化

東京都・私立佼成学園女子中学高校 西村準吉 にしむら・じゅんきち



これまで検討会の記録はメモ程度だったので、生徒にアドバイスすべきことの優先順位が言語化されたシートは、担任には入試直前の面談での重要な資料になります。教師全員で検討した内容ですから、経験の浅い教師も自信を持って生徒と向き合えるでしょう。

本校ではAO・推薦入試の受験者が多いため、「OSG」(*)を利用してポートフォリオも検討資料に加えたいと考えています。ポートフォリオの項目は、調査書への記入項目に、AO・推薦入試の出願条件にされることがあるオープンキャンパスの参加履歴を加えたものにする予定です。検討会の実施は今3年生のみですが、多面的・総合的な評価による入試が拡大すれば、1・2年生でもポートフォリオに基づいた検討会が必要になるかもしれません。

入試の多様化によって、教師もすべての情報を把握するのは難しい状況です。「指導」という意識から脱し、生徒の持つ情報も取り込みながら、最適な「支援」を考へることが求められていると感じています。

西村先生プロフィール 教職歴23年。同校に赴任して19年目。教頭統括進路指導部長。佼成学園中学校の統括進路指導部長を兼務。「生徒が努力するための支援をし、自身も学び続ける存在として範を示す」学校プロフィール 全日制/普通科/女子校/1学年約210人/2019年度入試合格実績(現浪計)/国公立大は、筑波大、東京外国語大、大阪大、国際教養大などに18人が合格。私立大は、慶應義塾大、上智大、早稲田大などに延べ271人が合格。

検討する生徒を絞り、効果的・効率的な検討会に

北海道旭川東高校 花尻健明 はなじり・たけあき



本校では、3年生対象の志望校検討会はセンター試験後のみで、自己採点の結果と志望校の度数分布、本人の意志を基に出席指導の方針を確認します。学年のほぼ全員が国立大学志望のため、検討会が長時間になることが課題です。今後の一般選抜・総合型選抜を考えると、本校でも、生徒の活動履歴等も踏まえた志望校検討会を、3年生前期をめぐり行う必要が出てくると考えています。また、今回の議論から、担任が進路指導上の課題を感じる生徒を重点的に取りあげる場面を増やしたいと思いました。

検討会で重視したいのは、生徒の希望進路の実現を後押しする材料をシートによって言語化し、生徒に自信を持たせられるよう、担任が面談に臨めるようにすることです。生徒の思いに寄り添う意識は全教師が持っているので、自己採点の結果にとらわれずに意見を出し合えると思います。シートをあらかじめ配布しておけば、生徒の志望のこだわり度など、検討に必要な情報も事前に担任が生徒に確認できます。

花尻先生プロフィール 教職歴12年。同校に赴任して5年目。進路指導部。数学科。「あたり前のことをあたり前に。感謝の気持ちをお忘れなさい。生徒が気づけることは気づかせよう。」

学校プロフィール 全日制・定時制/普通科/共学/1学年約280人/2019年度入試合格実績(現役のみ)/国立公立大は、旭川医科大学、北海道大、東京工業大、東京大、一橋大などに147人が合格。私立大は、慶應義塾大、早稲田大、立命館大などに延べ225人が合格。

定性データの共有でより個に応じた指導につなげる

埼玉県・私立武南中学校・高校 岡本眞一郎 おかもと・しんいちろう



定量データが中心となる志望校検討会の資料に定性データを加えることで、指導に厚みが出ると感じました。本校では、特に生徒の学習意欲を高めることが課題です。生徒とのかかわり方が異なる先生方が、生徒を後押しするためにそれぞれどんな言葉をかけるべきか。一度に多様な意見を聞ける場にする一方で、指導の幅の広がりが期待できます。本番に弱いから私立大学の併願校を増やす、ケアレスミスが多いから見直しを意識させるといった、生徒の性格も考慮した指導は、多様な情報が出てくるからこそできることです。また、毎年の検討会で、校内と校外の各データを突き合わせて分析し、実際の合格・不合格のデータを蓄積することで、合格可能性を測ることのできる、自校独自の軸を持つことも重要です。

最近では、出願倍率などの情報をインターネットで早々に入手し、生徒が自己判断してしまう場合もあります。勇み足をさせないよう、日頃から生徒との信頼関係を築くことができます。大切だと感じています。

岡本先生プロフィール 教職歴37年。同校に赴任して2年目。広報部。英語科。「活躍できる場を与え、対話を通して導き、生徒一人ひとりに成長や自立を実感させたい。」

学校プロフィール 全日制/普通科/共学/1学年約400人/2019年度入試合格実績(現浪計)/国立公立大は、埼玉大、千葉大、東京工業大、横浜国立大、首都大学東京などに29人が合格。私立大は、慶應義塾大、上智大、東京理科大学、早稲田大などに延べ60人が合格。

改良したいのに、どうすべきか分からない……

指導ツールを募集しています!

「改良! 指導ツール ビフォーアフター」では、取材にご協力いただける先生及び取材を検討させていただく「指導ツール」を募集しています。「自校で長年使っているツールを見直したい」「ツールのより効果的な活用法を検討したい」といった、課題意識をお持ちの先生方のご応募をお待ちしております。

〈個人情報の取り扱いについて〉をご確認いただき、必要事項①~④をご入力の上、指導ツールを添付して下記のe-mailアドレスにご送信ください。

※送信前に一度、生徒情報が削除されているかご確認ください

- ①学校名・お名前
- ②分掌・ご教職歴
- ③ツールの内容(目的・活用時期・活用方法)
- ④ツールに対する課題意識、改善要望

view21_since-1975@mail.benesse.co.jp

〈個人情報の取り扱いについて〉 この「改良! 指導ツール ビフォーアフター」のツール募集をご提供いただく個人情報は、今後の企画を検討する目的で利用いたします。お客様の意思によりご提供いただけない部分がある場合、手続き・サービス等に支障が生じることがあります。また、商品発送等で個人情報の取り扱いを業務委託しますが、厳重に委託先を管理・指導します。個人情報に関するお問い合わせは、個人情報お問い合わせ窓口(0120-924721、通話料無料、年末年始を除く、9時~21時)にて承ります。(株)ベネッセコーポレーション CPO(個人情報保護最高責任者) 上記をご承諾くださる方はご送信ください。